

教育庁人材バンク活用事例紹介 PART2



『教員を志望する大学生を活用した放課後学習教室及び部活動指導』～中野区立第七中学校～

人材バンクの登録者のうち、現在退職教職員と並んで登録人数が多い人材は、将来教員を目指している大学生の方々です。将来教員になるに当たり、事前に学校の現場に入って少しでも多く児童・生徒たちと触れ合う機会を持てればと皆様登録していただいております。今回は、そうした学校現場でのボランティア活動に強い意欲を持った大学生の方々を活用した事例を紹介いたします！

中野区立第七中学校では、今年度、全学年の希望者を対象とし、月曜日から金曜日まで、英語と数学の放課後学習教室を集中的に実施することになりました。そこで、同校の教員や地域の方々と協力しながら指導にあたってもらえる大学生を紹介してほしいという依頼がありました。同時に、バスケットボールの技術指導者の紹介依頼もあり、結果、人材バンクから合計7名の方を同校に紹介することになりました！

活動の様子等



放課後学習教室



【下川さんのコメント】

Q:学校現場でのボランティア活動はいかがですか？

A:定期的に生徒たちと触れ合うことができるのが魅力だと感じています。年齢が近いこともあり、すぐに打ち解けてくれて、勉強の話だけでなく学校生活の話も聞けるので、今の生徒たちが普段どのようなことを考えているのかも知ることができました。

Q:人材バンクでの活動を考えている大学生等へ

A:生徒と触れ合う中で学ぶことは多いです。先生方からも現場の話を伺えるので、とても挑戦しがいのあるボランティアだと思います！是非一緒に活動しましょう！

部活動指導



【島田さんのコメント】

Q:現在の活動を志望したきっかけは？

A:私は、週3回、バスケットボール部の外部指導員として主に技術・戦術指導を行っています。活動を志望したきっかけは、将来教職に就く前に、自分のこれまでの経験を生かしながら生徒と触れ合うことで、少しでも自分を成長させたかったからです。

Q:今回の活動を通して得たものは何ですか？

A:改めて指導することの難しさを実感するとともに、生徒から教えられることも多々あり、日々様々なことを経験させてもらっています。この充実した経験を、今後教員になった際に大いに活用していきたいと考えています！

活用現場を見学してみて

今回、深井副校長先生をはじめとした中野区立第七中学校の皆様方の御協力により、人材バンクの活用現場を見学することができました。私たちが紹介した大学生等が、生き生きと生徒たちと接し、また頼りにもされている様子を間近で見て、紹介した側として大きな喜びを感じました！今後も、活動希望者と学校双方にとって実りのあるボランティア活動となるよう、より一層取り組んでいきたいと思っています！



深井副校長先生のコメント

放課後学習教室では、外部指導員による丁寧な個別指導の下、生徒が現在の習熟度を確認しつつ、自身の課題を発見し、それを解決していく過程で学力の向上を図ることができています。また、本校のバスケットボール部では、顧問2名ともこれまで当該競技の指導経験がありませんでした。そこで、生徒指導・保護者対応等は顧問が行い、技術指導等は外部指導員が行うという分担制の下、生徒の様子を把握しながら、顧問が技術指導の方法等を学ぶこともできています。

このたび紹介いただいた皆様は、将来教員を目指していることもあり、もともと教育現場への関心が非常に高く、また強い責任感を持ちながら活動に積極的に取り組んでいただいております。非常に助かっています！ありがとうございました！

お問合せ先

東京都教育庁人事部職員課 人材バンク事務局
電話：03-5320-6714
ファクシミリ：03-5388-1729
メール：S9000013@section.metro.tokyo.jp

詳細は、東京都教育委員会のホームページを御覧ください。

教育庁人材バンク

検索